



(1) 湯 本 橋 全 景。

湯 本 橋 架 設 工 事 概 要

和歌山縣土木課長 上 田 柳 一

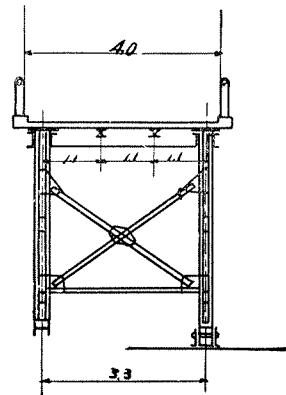
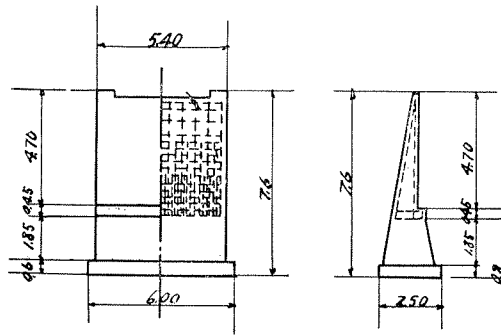
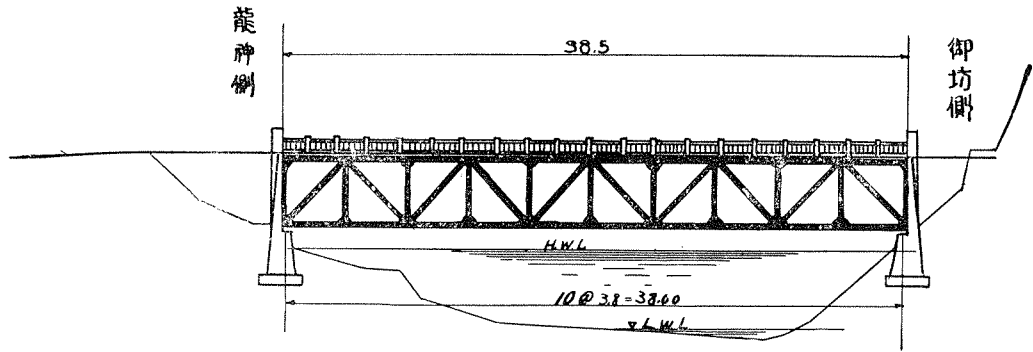
中里介山氏の快著大菩薩峠の龍神の巻に依つて天下に紹介されて以來一段と有名になつた仙境龍神温泉の入口に架せられたのが本橋である。紀勢西線南部驛から山中に分け入ること凡そ五十餘軒、十數年間に數十萬圓の工費を投じ繼續的に道路改良をなし、最後の本橋架設を以つて自動車は温泉の玄関に横づけられることゝなつた。

此の地は日高川上流の溪谷に臨み静寂莊嚴、山氣心身に迫るの思ひがあり湯は肌白く美人になる温泉として歎賞されるアルカリ性

炭酸泉で無色無臭透明眞に此の上もない清らかなもので俗塵を洗ふに相應しい。

本橋は日高川の支流小又川の合流點近くに架せられ、従來は至つて狹溢なる針金橋で動搖激しく歩行者すら危険を覺える状態であつたが、昭和八年度時局匡救農村振興土木事業として施工され、工事期間約四ヶ月就勞人夫總數約三千餘（鐵材加工運搬を除き）を數へ本年四月完全なる竣成を見るに至つた。

設計概要及構造は別表及圖面を以つて示すことにする。

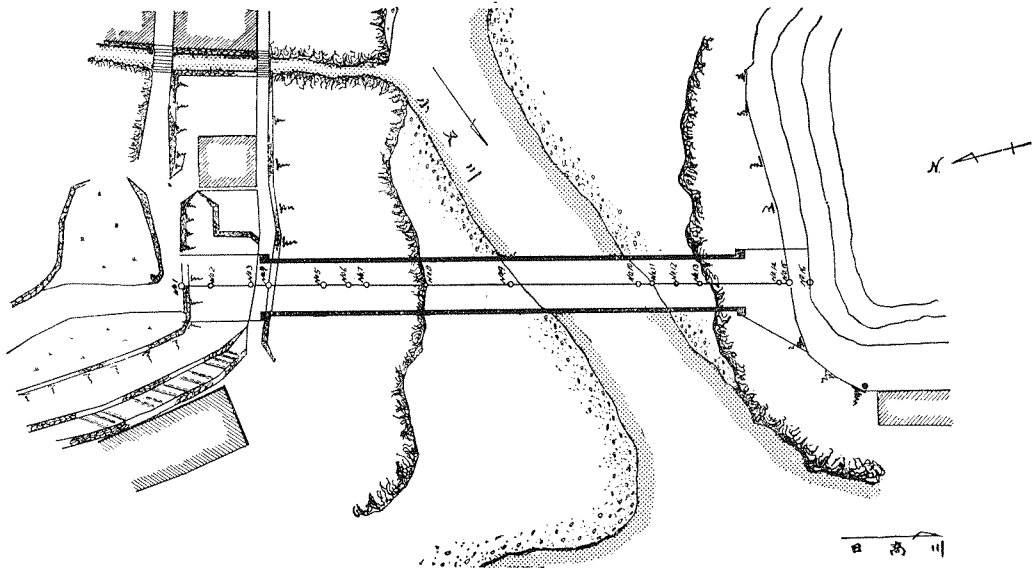


(2) 湯 本 橋 一 般 圖。

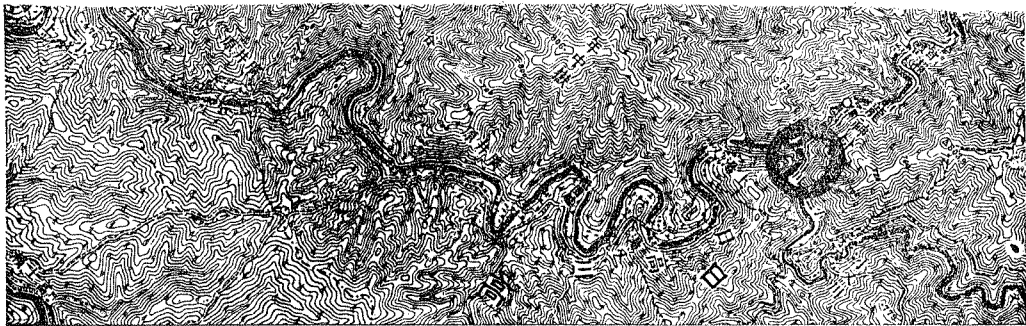
工 事 概 要

橋梁所在地名 和歌山縣日高郡龍神村小又川架設
 架橋道路種類及名稱 府縣道龍神南部線
 橋格(採用荷重種類) 群集荷重 500kg/□m 自動車
 荷重6ton
 工事施工年度 昭和八年度
 橋種(型式材料) 上路式直弦ワーレン型トラス
 全 橋 長 38.90米
 有效幅員 4.00米
 連 數 1
 一 徑 間 長 38.00米
 全橋有效面積(平米) 155.60
 (上部構造)
 主橋體用鋼材量 總噸數 39.86 平米當り噸數 0.256
 同一一連當り鋼材量 主桁 31.026 水平構其他 2.823
 床構 4.882

使用混凝土量 總粒數 37.725 平米當り粒數 0.242
 主橋體用混凝土量總粒數 25.529 平米當り粒數 0.641
 (床板)
 使用鐵筋量 總噸數 2.075 平米當り噸數 0.013
 主橋體用鐵筋量 總噸數 1.915 平米當り噸數 0.012
 (床版)
 (下部構造)
 橋台(型式材料) 重力式玉石混凝土造(土留1:2.4鐵
 筋混凝土)
 橋台の大體の大サ及形狀 高7.60米 底幅2.50米 長
 5.40米
 地 質 岩盤
 床版及橋面構造 鐵筋混凝土厚 0.13米 混凝土鋪裝
 厚 0.055米
 橋面材料平米當り量 混凝土 0.185粒 鐵筋 0.012噸
 欄干材料 鐵筋混凝土柱及平鋼組合メ金物及瓦斯
 管



(3) 湯本橋平面圖。



(4) 湯本橋附近平面圖。

橋梁總工費	11,100圓	平米當リ工費	71.3圓	[單價]	
[上部構造]				鋼橋ノ場合	
總工費	9,311.1圓	平米當リ工費	59.8圓	鋼材純當リ材料費	115.00圓
橋體費	7,773.8圓	平米當リ工費	49.9圓	鋼材純當リ工作及假組立費	35.00圓
橋床費	1,023.6圓	平米當リ工費	6.5圓	現場迄鋼材純當運搬費	20.00圓
欄干費	440.8圓	長一米當リ工費	11.3圓	橋體組立足場純當リ費	6.00圓
其他雜費	72.9圓(男柱)			現場組立架渡純當費	4.00圓
[下部構造]				鋼材ペンキ塗純當リ費(組立前及仕上共)	11.50圓
總工費	1,343.4圓	平米當リ工費	8.6圓		×
橋台費					
總工費	1,343.4圓	基礎費	73.6圓	上部費	1,269.8
其他工事費	44.5圓	平米當リ工費	7.00(取合道)		×